

# 平成29年度 議会報告会



**平成29年11月11日(土)**

◎午前10時～正午

鶴瀬西交流センター 多目的ホール

◎午後3時～午後5時

針ヶ谷コミュニティセンター 展示ギャラリー

**富士見市議会**



# 議会報告会 次第

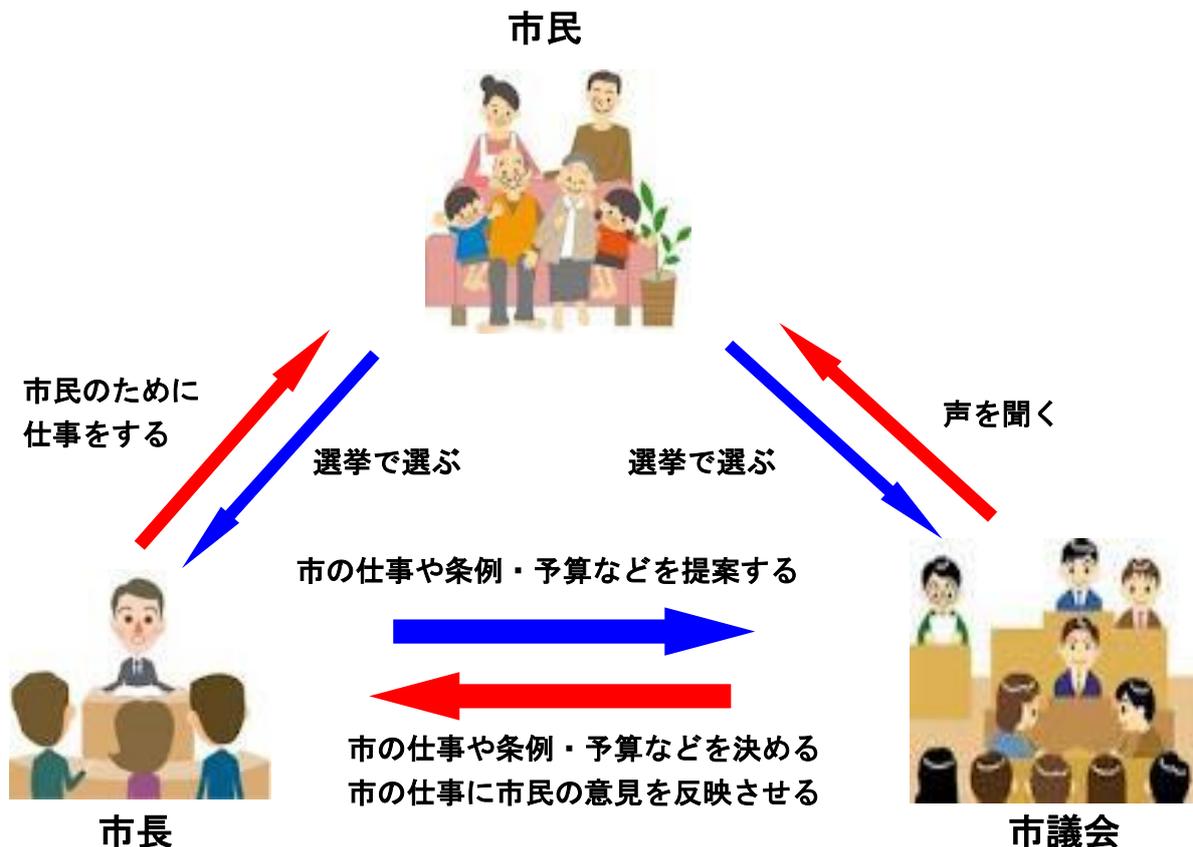
司会 議会報告会実行委員会副委員長 田中 栄志

1. 開 会 あいさつ 議長 尾崎 孝好
2. 議員紹介 議会報告会実行委員会委員長 八子 朋弘
3. 議会の説明 議会運営委員会委員長 関野 兼太郎
4. 議会報告（全体会）
  - ◆決算議案の報告（予算決算常任委員会）
    - 平成28年度富士見市一般会計歳入歳出決算認定について
    - ① 予算決算常任委員会委員長
    - ② 決算に対する各会派討論（5会派）
  - 質疑応答
5. 意見交換（3班体制で実施）
  - ◆テーマ： 総務常任委員会 「公共施設のあり方について」
  - 文教福祉常任委員会 「学力向上について」
  - 建設環境常任委員会 「デマンド交通について」
6. 意見交換の報告
7. 議会全般に対する質疑応答
8. 閉 会 あいさつ 副議長 篠田 剛

## 市議会と市民・市長の関係は？

市役所では、市民生活のための仕事（市政）をしています。そのため、市政には、市民の意見が反映されなければなりません。市議会は「議決機関」として、市政の進め方を決めたり、市政が正しく行われているかを確認したりしています。市長は「執行機関」として、市議会で決まったことを実際に推進していきます。

市議会と市長はお互いに独立した立場で、より良い市政の発展のために努めています。



## 市議会の主な仕事は？

- 市の条例をつくります ⇒ 市民が必要な市のきまりをつくります。
- 市の予算を決めます ⇒ 市の仕事に、どれだけお金を使うかを決めます。
- 市の仕事が正しく行われているか、お金（予算）が正しく使われているか、を確認します。
- 国や県などに意見を出します ⇒ 市民のためになることを国や県などに提案したり、意見を言ったりします。
- 市民の声をききます ⇒ 市に対する願いをききます。

## 市議会の流れは？

議会は、定期（定例会）または臨時（臨時会）に一定の期間開催されます。

富士見市議会の定例会は、年に4回、通常3月・6月・9月・12月に行われます。

会議には、「本会議」「委員会」があり、それぞれの会議で議案などについて話し合いをし、結論を出します。

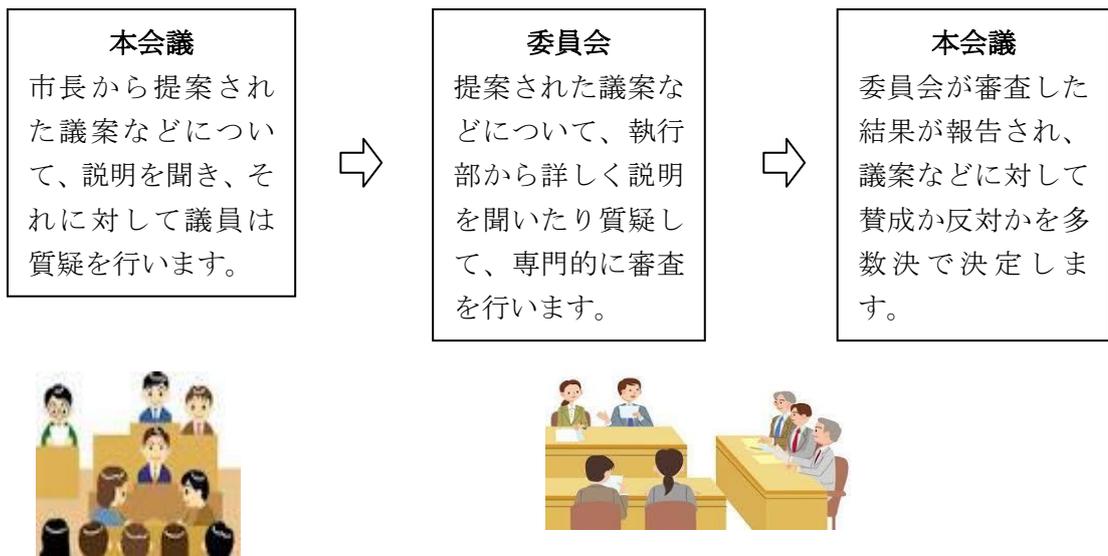
《委員会の一例》

### ◆常任委員会

議会に常時設置されている委員会で、予算・決算・条例などの議案や、請願・陳情の審査を行います。富士見市では、次の常任委員会があります。

- 総務常任委員会：総務部・総合政策部・市民生活部などを担当します。
- 文教福祉常任委員会：子ども未来部・健康福祉部・教育委員会を担当します。
- 建設環境常任委員会：自治振興部・まちづくり推進部・建設部などを担当します。
- 予算決算常任委員会：予算及び決算に関する事項について担当します。

\* 今回の議会報告会 第2部では、3つの常任委員会ごとのテーマで意見交換を行います。



## 市議会の傍聴は？

本会議と委員会は原則公開していますので傍聴することができます。また、インターネットによるライブ中継や録画映像も配信していますので、パソコン等で視聴できます。

[富士見市ホームページ](#) → [市議会](#) → [議会中継](#) にて視聴できます。

「議会ってどこでやっているの?」とのお質問をよくお受けします。会議により、会場が異なりますので、各会議の当日、市役所1F「議会事務局」前までお越しいただき、傍聴手続きをすれば傍聴できます。

## 市のお財布はどうなっているの？

富士見市は、一般会計、特別会計、公営企業会計の3種類の会計があります。  
お財布で言えば3種類のお財布があって、お金の出し入れをします。

### 一般会計

一番大きいお財布が「一般会計」です。

福祉・子育て・道路整備などのまちづくりに必要なお金を経理する会計です。

#### 平成28年度決算額

歳入 337億0042万5477円

歳出 328億5501万0949円

### 特別会計

次のお財布は「特別会計」です。

一般会計とは別に、富士見市には、国民健康保険特別会計、介護保険特別会計など5つの特別会計があります。

#### 平成28年度決算額

国民健康保険特別会計 歳入 128億5947万0793円

歳出 127億7936万6165円

介護保険特別会計 歳入 64億1767万1989円

歳出 62億0632万1566円

後期高齢者医療事業特別会計 歳入 10億0369万0560円

歳出 10億0028万8840円

鶴瀬駅西口土地区画整理事業特別会計 歳入 3億9776万7053円

歳出 3億3491万2795円

鶴瀬駅東口土地区画整理事業特別会計 歳入 4億8439万3399円

歳出 4億3180万1557円

公共用地先行取得事業特別会計 歳入 3210万3000円

歳出 3210万3000円

### 公営企業会計

最後のお財布が「公営企業会計」です。

普通の会社と同じように、利用した人から料金をいただいて事業を行っているお財布です。

#### 平成28年度決算額

水道事業会計 収入 26億4921万5138円

支出 23億2528万1742円

下水道事業会計 収入 37億2181万0026円

支出 33億4811万5070円

## 市の歳入（一般会計の1年間の収入）はどんな状況ですか？

◎富士見市の歳入には、**自主財源**と**依存財源**があります。



### 自主財源

182億 1097万 8210円

みなさんに納めていただく市税や使用料、手数料など、富士見市が自主的に財源として集めることができる収入です。



### 依存財源

154億 8944万 7267円

道路や施設をつくる時に国からの補助金や、借り入れる市債など、国や県が定めた額を交付されたり、割り当てられたりする収入です。

## ◎平成28年度歳入（337億0042万5477円）の内訳

市税 151億 5467万 2240円		国庫支出金 55億 7479万 2563円	地方交付税 32億 1730万 2000円	その他（県支出金・市債等） 66億 9735万 2704円
---------------------	--	--------------------------	--------------------------	----------------------------------

↓  
 その他（使用料・手数料など）  
 30億 5630万 5970円



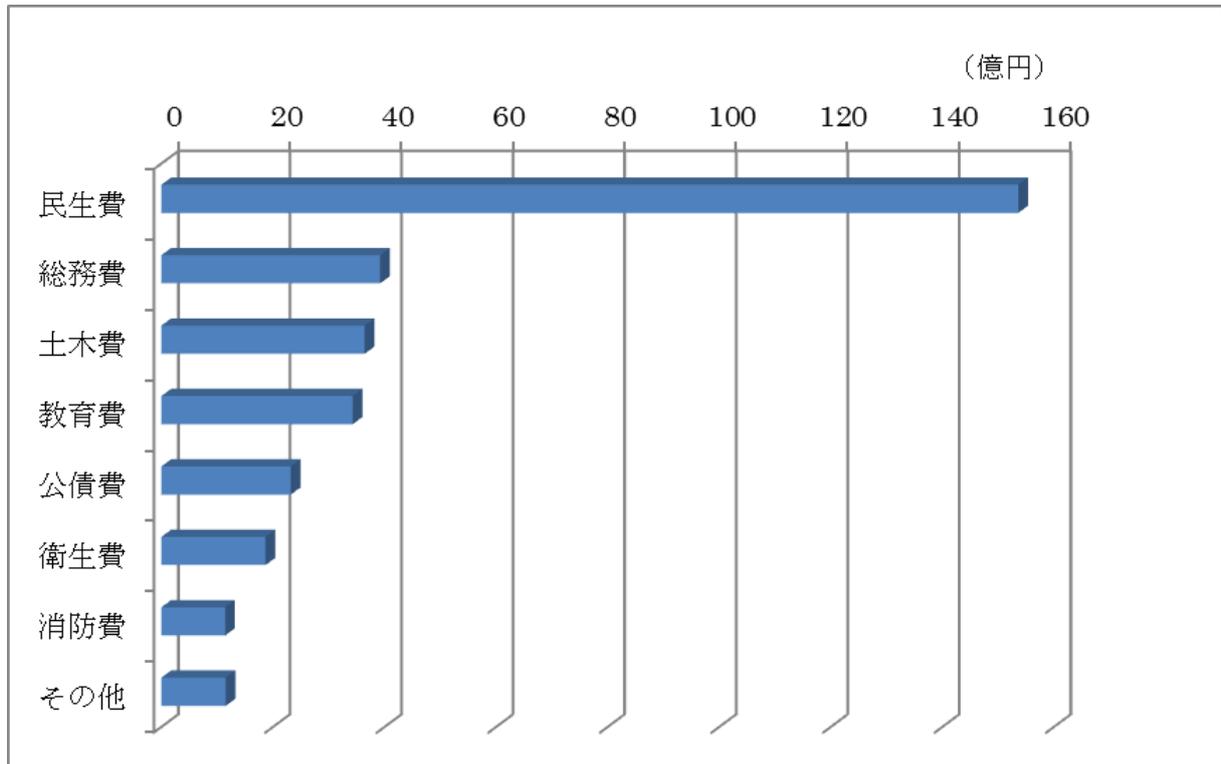
**自主財源**  
 182億 1097万 8210円  
 54.04%

**依存財源**  
 154億 8944万 7267円  
 45.96%

## 市の歳出(一般会計の1年間の支出)はどんな状況ですか？

市では、学校や道路の建設、子育てや福祉などさまざまな事業にお金を使っています。簡単に説明すると次のようになります。

### ◎目的別のお金の使い道



費目	決算額	支出概要
民生費	153 億 6382 万 276 円	子育て支援や高齢者、障がい者などの福祉のために
総務費	39 億 2430 万 3511 円	窓口サービスや防災対策、庁舎管理などのために
土木費	36 億 4706 万 2446 円	道路や公園などの整備のために
教育費	34 億 3067 万 656 円	教育や文化財保護などのために
公債費	23 億 2084 万 6679 円	借入金の返済のために
衛生費	18 億 6762 万 9848 円	健康づくりやごみ処理などのために
消防費	11 億 4511 万 2702 円	消防や救急などのために
その他	11 億 5556 万 4831 円	農業や商業などのために
計	328 億 5501 万 949 円	

## 一般会計決算議案に対する各会派の討論

※本会議における討論順

### 日本共産党（不認定）

2016度は実質収支約6億4千万の黒字となった。不安定雇用の増加、年金引き下げなど市民生活は非常に厳しい状況にあり、子どもの貧困実態調査の取り組みは評価する。一方、滞納世帯への差し押さえが592件と増加、子どもの貧困は大人の貧困問題と捉え生活再建の支援に転換することが必要。市民総合体育館の復旧後の雨漏りの検証、利用時間・料金の見直しを求め不認定とする。

### 公明党（認定）

市税は過去最大の収税規模となり、市民総合体育館の復旧に関する収支が大きかった。自然災害から市民の安全を守る取り組みの重要度が増している。人口が11万人を超え微増していることから施策が一定の成果をあげていると評価する。市民ニーズに応え、みずほ台駅西口エレベーターの設置等の施策が展開された。今後も水谷柳瀬川地区の土地利用などを進め、住み続けたい市に発展させる行政運営を行っていただきたい。

### 草の根（認定）

平成28年度は、歳入は人口増を主な要因とし、歳出は市民総合体育館の復旧及び改造工事に伴い、共に前年度より増となった。歳入出のバランスを示す、実質収支比率は3.7%であり、健全な数字であることを評価したい。

入札業務において、プロポーザル契約の際も競争入札と同じく参加業者、入札金額の公開など、債権管理条例が制定された今、より進んだ財政の適正化、情報公開を行うことを求めて認定とする。

## 2 1・未来クラブ（認定）

平成28年度決算を総括的に見ると、市税収入や予算規模が過去最大になるという、活況な1年であった。一方財政構造の弾力性の指標である経常収支比率が悪化し、予算規模拡大の半面厳しい財政運営を強いられている現状が見える。

しかしながら、効率的な行財政運営を進める中で、計画的事業や新規の予算も執行され「魅力と賑わいのある誰もが安心して暮らすことができるまちづくり」への取り組みを評価し認定とする。

## 市民の絆（認定）

決算内容は、歳入・歳出とも昨年を上回るものになったが、財政力動向では、財政力指数・経常収支比率とも若干上回っていることを危惧する。

施策面では、子育て支援や、いじめ防止対策、各種福祉、都市基盤整備、防災・減災などを評価する。

反面、子どもの貧困は増加傾向にあり、今後学校給食の無償化や18才までの子ども医療費無料化を要望する。

また不用額のさらなる効率的運用を要望し認定とする。

「公共施設のあり方について」

・視察先

新潟県上越市、長野県中野市

自治体名	人口（現状）	面積
上越市	約 195,000 人	974.00k m <sup>2</sup>
中野市	約 43,000 人	112.18k m <sup>2</sup>
富士見市	約 111,000 人	19.77k m <sup>2</sup>

・事業内容

公共施設等総合管理計画について

・当市との比較

	公共施設白書	公共施設等 総合管理方針	個別施設計画	特記事項
上越市	策定せず	平成 28 年 2 月 策定	策定中	再配置計画策 定済み
中野市	平成 27 年 12 月策定	平成 28 年 4 月 策定	平成 29 年 4 月 策定	
富士見市	平成 27 年 1 月 策定	平成 28 年 10 月策定	今後策定予定	

政府は平成 25 年 11 月に「インフラ長寿命化基本計画」を決定。地方公共団体は、平成 28 年度頃までに、「インフラ長寿命化計画（行動計画）」を、また、平成 32 年度頃までに、個別施設毎の具体の対応方針を定める「個別施設毎の長寿命化計画（個別施設計画）」を策定することとなった。

富士見市では、今後は「施設点検マニュアル」を作成し、さらに「個別施設の行動計画」の策定、個別施設の行動計画に基づく改修等を実施し評価等をしていく予定である。

・主な質疑応答

上越市

問・・・計画の進行管理は。

答・・・四半期ごとに照会を実施。

中野市

問・・・パブリックコメント以外に市民から意見を募る方法は。

答・・・市民満足度調査や私の提言を活用。

## 「学力向上について」

- ・視察先・・・大阪府茨木市
- ・事業内容・・・「茨木っ子グローイングアッププラン」

### 1. 明確な目標設定と段階的・総合的なプランの策定

全体像が分かりやすい具体的なプランを策定し、1年間かけて関係機関・保護者に周知して理解を得ながら実施。その後も3カ年ごとに段階的・計画的に取り組み中（現プランは、平成29～31年度の第4次3カ年計画）。

また、「学力低位層の底上げ」という明確な目標を掲げ、かつ目標を「点数化・見える化」。一方で、学力テストは点数云々ばかりに目が行きがちだが、学力テストの点のみならず、総合的な人間形成を目指すことを重視。学校教育で本来最も大切な「どの子にも行き届いた教育」「どの子も勉強がわかるような取り組み」のために学力テストを活用。

低学力層に注目し学習支援にあたり、つまずきのある児童が前向きに学習に臨むようになり、「一人も見捨てへん教育」の副題で学校関係者や保護者等へプランを浸透。

### 2. 支える体制

学習サポーター、生徒サポーター、業務サポーター、出退勤管理用ICカードの導入、部活動休養日など、教員も支える体制を充実させている。

### 3. 保幼小中連携

小中一貫校の試行など小中連携は複数の自治体で試行されているが、「中学校区をブロックとして連携」しており、また、保育園・幼稚園とも連携している。

#### ・当市との比較

当市でも学力向上について様々な施策がなされているが、茨木市では全国学力テストの結果向上に向けて目標を明確化している点。茨木市では教員が子どもに係る時間を増やすために業務サポーター等を配置するなど、サポーター体制を充実させている点。当市でも小中連携を実施しているが、茨木市では「中学校区をブロックとして連携」しており、また保育園・幼稚園とも連携している点が特徴的。

#### 主な質疑応答

問 1次計画から3次計画までの取り組みの成果は。

答 学力は著しく向上。とりわけ中学生の学力は10年間順調な右肩上がりのグラフを描き、全国でもトップクラスの秋田県の数値と肩を並べるような水準に達した。

#### 【参考】平成28年度 全国学力・学習状況調査結果

(単位%)

小学校				中学校			
教科	富士見市	埼玉県	全国	教科	富士見市	埼玉県	全国
国語A	70.3	71.6	72.9	国語A	74.5	74.9	75.6
国語B	53.6	56.7	57.8	国語B	65.5	65.6	66.5
算数A	74.8	75.9	77.6	数学A	60.2	60.3	62.2
算数B	45.0	46.3	47.2	数学B	43.1	43.2	44.1

## 「デマンド交通について」

## ○視察先

愛知県江南市 デマンド交通「いこまいCAR」について

滋賀県守山市 デマンド乗合タクシーについて

## ○事業内容・当市との比較

自治体名	愛知県江南市	滋賀県守山市	富士見市
人口規模	約10万人	約8万2千人	約11万人
面積	30.20km <sup>2</sup>	55km <sup>2</sup>	19.77km <sup>2</sup>
予算規模（29年度 一般会計）	約294億円	約242億円	約340億円
名称	いこまいCAR	モーリーカー	デマンド交通実証実験
制度の開始時期	平成19年10月 （※予約便試行運転）	平成24年12月	※平成29年8月～翌 年1月
登録対象者	市民	市民のうち ・満65歳以上の運 転免許がない方・ 自動車のない方 ・障がい者の方・妊 産婦の方など	市民
登録者数	7,264人 （28年度）	1,029人 （29年9月末）	5,832人 （29年9月末）
事業予算額	約3200万円	約708万円	約1806万円
利用者の負担額	迎車料金全額 タクシー料金の半額	1人当たり400円	タクシー料金の半額 会社により予約料金
利用できる場所	市内	市内315か所の乗 降場と駅近くの公共 施設など15か所の 間	・自宅と370か所の 共通乗降所の間 ・共通乗降所同士の間
利用可能時間	午前8時半から午後 5時まで（通院から の帰りのみ午後6時 まで可）	午前8時半から4時 半まで	午前8時半から午後5 時半
当日の予約	不可（前日まで）	不可（前日まで）	可
コミュニティバス	なし	なし	あり

## 【主な質疑応答】

Q 市民からの評判はどうですか？

A（江南市） 「続けてほしい」という声が多い。ただこの制度を知らない人は知らないのも課題で、毎月広報に案内を掲載し、6月・10月には特集をしている。「バスと比べると高い」という声もある。

# 政務活動費について

政務活動費は議員の調査研究その他の活動に資するため必要な費用の一部として、議会における会派（所属議員が1人の場合を含む）に対し交付されるもので、会派の所属議員数に240,000円（月額20,000円×12ヶ月）を乗じて得た金額が交付されます。政務活動費の交付及び使途基準については、富士見市議会政務活動費の交付に関する条例及び富士見市議会政務活動費の交付に関する規程に定めています。

## 平成28年度政務活動費の収支

（単位：円）

	21・未来 クラブ	草の根	公明党	日本共産党	富士見市民 ネットワーク	市民の絆
交 付 額	1,400,000	1,160,000	960,000	960,000	240,000	240,000
研究研修費	1,225	0	0	350,484	139,298	0
調 査 旅 費	124,100	6,890	167,032	0	0	0
資料作成費	233,482	195,872	160,689	206,344	39,396	45,313
資料購入費	0	12,000	0	63,876	21,106	53,076
広 報 費	420,282	722,642	394,808	340,848	0	0
広 聴 費	0	0	0	0	0	0
人 件 費	0	0	0	0	0	0
支 出 額 計	779,089	937,404	722,529	961,552	199,800	98,389
残 額	620,911	222,596	237,471	△1,552	40,200	141,611

# 富士見市議会政務活動費使途基準

項 目	内 容
研究研修費	会派が研究会若しくは研修会を開催するために必要な経費又は会派の所属する議員が他の団体の開催する研究会若しくは研修会に参加するために要する経費(会場費、講師謝金、出席者負担金、会費、交通費、宿泊費等)
調査旅費	会派が行う調査研究活動のために必要な先進地調査又は現地調査に要する経費(交通費、宿泊費等)
資料作成費	会派が行う調査研究活動のために必要な資料の作成に要する経費(印刷製本費、翻訳料、備品及び事務消耗品購入、事務機器購入・リース代等)
資料購入費	会派が行う調査研究活動のために必要な図書、資料等の購入に要する経費
広 報 費	会派の調査研究活動、議会活動及び市の政策について住民に報告し、PR するために要する経費(広報紙、報告書印刷費、送料、会場費等)
広 聴 費	会派が住民からの市政及び会派の政策等に対する要望又は意見を吸収するための会議等に要する経費(会場費、印刷費、茶菓子代等)
人 件 費	会派が行う調査研究活動を補助する者を臨時雇用する経費

メモにご使用ください